

【様式 4】

公立大学法人沖縄県立看護大学
令和 5 年度業務実績評価書

令和 6 年 9 月

沖縄県公立大学法人沖縄県立看護大学評価委員会

I 全体評価

1 全体評価の総評

令和5年度は、中期目標期間の2年目であり、中期目標達成に向け、中期計画に基づいた年度計画を順調に実施しており、着実な業務の進捗状況にある。

2 中期目標の達成に向け、評価できる点（優れた点、特色ある点）

○島嶼保健看護に関する拠点整備及び教育・研究活動は島嶼県である本県の大学として取組む価値の高いものであると考える。

○島嶼モデル離島村役場と協働した地域包括ケアシステムの構築に係る取組については、地域に寄り添ったものであり、将来的に学生の視野を広げ、豊かな人間性を養うと同時に、多様で複雑な社会の変化に柔軟に対応できる看護職者の育成につながる取組として評価する。

○「離島から本島の高校に進学した高校生に対するピアサポート」は、社会の課題に向き合う良い視点での研究であり、学生側、高校生側どちらにとってもメリットがあり、その成果が将来的に本県の子供サポート政策につながる事を期待する。

○学生の学習の場としての島嶼であるが、それ以上に、地域を知り共に課題解決に向けて協働する大学の活動は、島嶼地域にとっても有用であり、これらの取組を今後も継続して確実に進めていくことを期待する。

○沖縄の地理・歴史・文化、看護を取り巻く今日的状況および社会的要請に応じるという理念に沿った島嶼地域への貢献として、従来から宮古島、石垣島、久米島にサテライト教室を設け、離島に在住し働きながら大学院を修了した看護職者の方々が、島嶼保健看護のリーダーとして活躍しているという実績は高く評価できる。

3 中期目標の達成に向けた課題（更なる充実が期待される点、改善すべき点）

○年度計画の策定にあたっては、中期目標及び中期計画並びに過年度の評価結果等を踏まえた上で、具体的な取組を記載いただくとともに、実績評価にあたっては、中期目標及び中期計画の達成状況も意識した自己評価並びに進捗管理に努めていただきたい。

4 中期目標の達成に向けた法人への要望

○特になし

Ⅱ 項目別評価

1 業務実績の検証

項目別評価を実施するにあたって、法人から提出された業務実績等報告書を基に検証を行った。

検証にあたっては、従前の評価結果に対する法人の業務運営への活用・反映状況等を確認するほか、中期計画及び年度計画に記載されている各項目の業務の実績について、中期計画の進捗・達成状況を確認するとともに、法人の自己評価及び計画設定の妥当性を含め総合的に行った。

検証は、法人からのヒアリングにより実施した。

2 業務実績の評価

業務実績等報告書の各項目の検証及び特記事項等を基に、業務の進捗・達成状況を中項目及び大項目ごとにⅤ～Ⅰの5段階で評価した。参考値の算出については、配点表1により算出し、小項目の評価については、表1によりS～Dの5段階で評価した。

評定		判断基準（目安）	参考値
Ⅴ	年度計画を大幅に上回って実施している。	顕著な実績又は特に優れた成果が認められるもの	小項目又は中項目の平均値が4.5以上
Ⅳ	年度計画を上回って実施している。	年度計画を上回る取組、実績又は成果を挙げたもの、あるいは年度計画を順調に実施し、かつその取組に注目すべき点（※）が認められるもの	小項目又は中項目の平均値が3.5以上～4.5未満
Ⅲ	年度計画を順調に実施している。	達成度が概ね100%程度と認められるもの	小項目又は中項目の平均値が2.5以上～3.5未満
Ⅱ	年度計画を十分に実施できていない。	年度計画を計画通り実施できていないもの、実績・成果が年度計画を下回っているもの	小項目又は中項目の平均値が1.5以上～2.5未満
Ⅰ	業務の大幅な見直し、改善が必要である。	評価委員会が特に認める場合	小項目又は中項目の平均値が1.5未満

※中期目標を達成するため、中期計画を前倒して実施するなど、戦略性が高く意欲的な年度計画を積極的に実施するなどの、その取組に注目すべき内容が認められるもの、あるいは社会情勢の変化等の外的要因により達成がより困難となった年度計画について達成したもの等

【配点表1】

小項目	評価 S	評価 A	評価 B	評価 C	評価 D
配点	5	4	3	2	1

評価の個数に配点を乗じて、評価の平均値を算出（小数点第2位は四捨五入）

例）Sが1個、Aが2個の場合、 $(5 \times 1) + (4 \times 2) \div 3 = 4.33$ 平均値4.3 ⇒ 評定Ⅳ

【表 1】小項目の評価

評価		判断基準（目安）
S	年度計画を当初予定より大幅に上回って実施している。	顕著な実績又は特に優れた成果が認められるもの
A	年度計画を当初予定より上回って実施している。	達成度が概ね 110%以上と認められるもの
B	年度計画を当初予定どおり実施している。	達成度が概ね 90%以上 110%未満と認められるもの
C	年度計画の実施状況が当初予定を下回っている。	達成度が概ね 60%以上 90%未満と認められるもの
D	年度計画の実施状況が当初予定を大幅に下回っている。	達成度が 60%未満と認められるもの、あるいは年度計画を実施していないもの

3 業務実績等報告書の各項目の評価

【大項目評価】

1. 教育研究の質の向上に関する目標を達成するための措置

(1) 教育に関する目標を達成するための措置

Ⅲ	年度計画を順調に実施している。
---	-----------------

【中項目評価】

中項目	小項目数	評価 S 個数	評価 A 個数	評価 B 個数	評価 C 個数	評価 D 個数	評価
ア. 質の高い人材の育成を達成するための措置	2		1	1			Ⅳ
イ. 教育の充実を達成するための措置	1			1			Ⅲ
ウ. 学生の確保を達成するための措置	3			3			Ⅲ
エ. 教育の実施体制等の強化を達成するための措置	2			2			Ⅲ
オ. 学生支援体制の拡充を達成するための措置	1		1				Ⅳ

数値目標 ※上記評価項目に含む	達成／進捗状況
ア. 質の高い人材の育成を達成するための措置 【数値目標①】 国家試験合格率 看護師及び助産師 100% 保健師 全国平均以上 (R5:95.7%) 【数値目標②】 島嶼環境を活かした教育活動 離島実習学生数 100名/年	ア. 質の高い人材の育成を達成するための措置 【数値目標①】 看護師 100% (達成率 100%) ※R4 : 99% 助産師 100% (達成率 100%) ※R4 : 100% 保健師 99% (達成率 103%) ※R4 : 94% 【数値目標②】 離島実習学生数 128名/年 (達成率 128%) ※R4 : 116名
ウ. 学生の確保を達成するための措置 【数値目標③】 志願倍率 (学部) 2倍	ウ. 学生の確保を達成するための措置 【数値目標③】 2倍 (達成率 100%) ※R4 : 2.28倍
オ. 学生支援体制の拡充を達成するための措置 【数値目標④】 カリキュラム等、学修環境の満足 80%以上 【数値目標⑤】 就職率 100% 【数値目標⑥】 県内就職率 70%	オ. 学生支援体制の拡充を達成するための措置 【数値目標④】 87% (達成率 108%) ※R4 : 83% 【数値目標⑤】 100% (達成率 100%) ※R4 : 100% 【数値目標⑥】 71% (達成率 102%) ※R4 : 75%

【評価説明】

(1) 優れた点・特色ある点

(小項目 1) ※報告書小項目 3

○島嶼環境を活かした教育活動については、大学の使命に合致した取組であり、大きく目標値を上回ったことに加え、島嶼体験型教育活動が開始されたことは、優れた点として評価できる。

(小項目 10) ※報告書小項目 18

○全国公立大学学生大会 (LINKtopos) について、大学を主会場とし、学生が大会長を務めたことは、全国の公立大学の学生が交流し沖縄の理解を深める貴重な場を提供する取組として高く評価する。

(2) 更なる充実が期待される点

(小項目 4)

○引き続き ICT の活用の幅を広げることで、学生の学習機会の確保や遠隔授業等による学外の教員等の効果的な指導につなげ、教育の充実を図ることを期待する。

(小項目 5)

○学部入学試験志願倍率は、目標値を達成しているものの、前年度から低下している。令和 7 年度の一般選抜後期日程廃止が学生の確保にどう影響するか懸念されるところであり、その分析と志願者確保へ向けた更なる対策の強化を期待する。

(小項目 5)

○外国人特別学生受け入れに関して、国際的視野で保健看護活動ができる能力を養うという教育目標の達成へ向け、今後も更なる充実を期待する。

(小項目 7)

○別科助産専攻の入学者数が令和 4 年度に引き続き、定員 20 名を下回っている。県内の就労助産師不足が問題となっていることも踏まえ、課題である実習受け入れ先の確保について、県や関係機関等とも連携し解決を図ることを期待する。

(3) 改善すべき点

(小項目 3)

○中項目「ア. 質の高い人材の育成を達成するための措置」のうち「別科助産専攻」については、修業年限が 1 年であり、業務実績の評価と改善を毎年度、学生へフィードバックすることが望まれることも踏まえ、年度計画に盛り込んだ上で取組を実施いただきたい。

(小項目 7)

○別科助産専攻における学生の確保について、中期目標及び中期計画との関連や課題等に留意した上で、年度計画に具体的な取組を盛り込み、PDCA サイクルを回すことを意識しつつ毎年度の取組を実施いただきたい。

【大項目評価】

1. 教育研究の質の向上に関する目標を達成するための措置

(2) 研究に関する目標を達成するための措置

Ⅲ	年度計画を順調に実施している。
---	-----------------

【中項目評価】

中項目	小項目数	評価 S 個数	評価 A 個数	評価 B 個数	評価 C 個数	評価 D 個数	評価
ア. 研究内容及び研究の推進等を達成するための措置	1			1			Ⅲ
イ. 研究の実施体制等の整備を達成するための措置	1			1			Ⅲ

数値目標※上記評価項目に含む	達成／進捗状況
ア. 研究内容及び研究の推進等を達成するための措置 【数値目標⑦】 競争的研究資金申請率 60%	ア. 研究内容及び研究の推進等を達成するための措置 【数値目標⑦】 58.3% (達成率 97%) ※R4 : 66%
イ. 研究の実施体制等の整備を達成するための措置 【数値目標⑧】 競争的研究資金採択率 全国平均以上 (R5 : 25.4%)	イ. 研究の実施体制等の整備を達成するための措置 【数値目標⑧】 40.0% (達成率 157%) R4 : 55.6%

【評価説明】

(1) 優れた点・特色ある点

(小項目 11)

○島嶼センターにおける研究活動として、開学以来の25年間の島嶼に関連する研究論文の整理・分析が開始されたことや、学生によるモデル離島の出身高校生を対象としたピアサポートに関する1年間のデータ解析が開始されたことは、優れた点として評価でき、今後の活動が期待される。

(2) 更なる充実が期待される点

(小項目 12)

○教員の研究時間確保に関する調査結果等を踏まえた各種取組について、フォローアップ調査等によりその成果を評価し、PDCAサイクルを回すことで、研究時間確保につなげることを期待する。

(3) 改善すべき点

○特になし

【大項目評価】

1. 教育研究の質の向上に関する目標を達成するための措置
 (3) 地域貢献等に関する目標を達成するための措置

IV	年度計画を上回って実施している。
----	------------------

【中項目評価】

中項目	小項目数	評価 S 個数	評価 A 個数	評価 B 個数	評価 C 個数	評価 D 個数	評価
ア. 地域貢献等の拡充を達成するための措置	1		1				IV
イ. 国際交流の推進を達成するための措置	1			1			III
ウ. 沖縄県及び関係機関との連携を達成するための措置	1		1				IV

数値目標※上記評価項目に含む	達成／進捗状況
ア. 地域貢献等の拡充を達成するための措置 【数値目標⑨】 公開講座（研修会）開講数 最終年度累計 15 件（R 5 年度 2 件） 【数値目標⑩】 地域貢献事業 5 事業／年	ア. 地域貢献等の拡充を達成するための措置 【数値目標⑨】 累計 6 件（R 5 年度 4 件）（達成率 200%）※R4：2 件 【数値目標⑩】 11 事業／年（達成率 200%）R4：5 件

【評価説明】

(1) 優れた点・特色ある点

(小項目 13)

- 公開講座や地域貢献事業については優れた社会活動であり、学生ボランティアについては、学生の主体性を育み、地域とそこで暮らす人々を知るための学習機会ともなることから評価できる取組である。

(小項目 13)

- 島嶼における地域貢献について、地域の課題解決に学生が参画する取組は興味深い。今後、対象地域からの評価やフィードバック等により、地域貢献への成果を確認することができれば、更なる評価を行えるため期待したい。

(2) 更なる充実が期待される点

- 特になし

(3) 改善すべき点

- 特になし

【大項目評価】**2. 業務運営に関する目標を達成するための措置**

Ⅲ	年度計画を順調に実施している。
----------	-----------------

【中項目評価】

中項目	小項目数	評価 S 個数	評価 A 個数	評価 B 個数	評価 C 個数	評価 D 個数	評価
ア. 法人運営の改善に関する目標を達成するための措置	3			3			Ⅲ
イ. 人材確保及び人材育成に関する目標を達成するための措置	3			3			Ⅲ
ウ. 事務等の効率化及び合理化に関する目標を達成するための措置	1			1			Ⅲ

【評価説明】**(1) 優れた点・特色ある点**

○特になし

(2) 更なる充実が期待される点

○特になし

(3) 改善すべき点

○特になし

【大項目評価】

3. 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

Ⅲ	年度計画を順調に実施している。
---	-----------------

【中項目評価】

中項目	小項目数	評価 S 個数	評価 A 個数	評価 B 個数	評価 C 個数	評価 D 個数	評定
ア. 自己収入及び外部資金の確保に関する目標を達成するための措置	1			1			Ⅲ
イ. 経費の執行に関する目標を達成するための措置	1			1			Ⅲ
ウ. 資産の適性管理及び有効活用に関する目標を達成するための措置	2			2			Ⅲ

数値目標※上記評価項目に含む	達成／進捗状況
ア. 自己収入及び外部資金の確保に関する目標を達成するための措置 【数値目標⑪】 経常費予算額に占める自主財源額割合 最終年度 25%	ア. 自己収入及び外部資金の確保に関する目標を達成するための措置 【数値目標⑪】 24.2%（達成率-） R4 : 24.5%

【評定説明】

（１）優れた点・特色ある点

○特になし

（２）更なる充実が期待される点

○特になし

（３）改善すべき点

○特になし

【大項目評価】

4. 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置

Ⅲ	年度計画を順調に実施している。
---	-----------------

【中項目評価】

中項目	小項目数	評価 S 個数	評価 A 個数	評価 B 個数	評価 C 個数	評価 D 個数	評価
ア. 自己点検及び評価の実施に関する目標を達成するための措置	1			1			Ⅲ
イ. 情報公開の推進等に関する目標を達成するための措置	1			1			Ⅲ

【評価説明】**(1) 優れた点・特色ある点**

○特になし

(2) 更なる充実が期待される点

(小項目 28)

○大学ホームページについては、学生や入学希望者等への情報提供に資するとともに、社会に対する説明責任を果たす観点から漏れなく更新できる体制を構築し、積極的に内容の充実を図ることを期待する。

(3) 改善すべき点

○特になし

【大項目評価】

5. その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

Ⅲ	年度計画を順調に実施している。
---	-----------------

【中項目評価】

中項目	小項目数	評価 S 個数	評価 A 個数	評価 B 個数	評価 C 個数	評価 D 個数	評価
ア. 大学の安全衛生管理に関する目標を達成するための措置	1			1			Ⅲ
イ. 危機管理に関する目標を達成するための措置	1			1			Ⅲ
ウ. 施設設備の整備及び活用等に関する目標を達成するための措置	1			1			Ⅲ
エ. 人権の尊重に関する目標を達成するための措置	1			1			Ⅲ
オ. 法令遵守に関する目標を達成するための措置	1			1			Ⅲ

【評価説明】

(1) 優れた点・特色ある点

○特になし

(2) 更なる充実が期待される点

(小項目 30)

○事業継続計画（BCP）の策定については、県内大学として先進的であり、継続的な見直しとホームページ公開等により他大学の参考となることを期待する。

(3) 改善すべき点

○特になし